

【研修内容】

未経験者更新研修、再研修で行うべき科目の目的については、以下のとおりである。

未経験者更新研修・再研修 科目とその目的

科目	目的
介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	介護保険制度の理念等を理解するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の現状を理解する。また、介護保険制度における利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの役割を理解し、地域包括ケアシステムにおける介護支援専門員の役割を認識する。
ケアマネジメントに係る法令等の理解	法令を遵守し、介護支援専門員の業務を適切に遂行できるよう、介護保険制度に係る法令等を正しく理解する。
人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	人権と尊厳を支える専門職に求められる姿勢を認識する。また、介護支援専門員としての職業倫理を理解するとともに、日常業務で直面する倫理的課題等を認識する。
地域包括ケアシステム及び社会資源	地域包括ケアの理念を踏まえ、地域包括ケアを推進していくに当たり介護支援専門員に求められる役割を理解する。また、利用者を支援する上で知っておくべき各種制度や地域の社会資源の重要性を理解する。
ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義	医療との連携や多職種協働の意義を踏まえ、具体的な連携の場面で必要となる基本的な知識や連携の手法を修得する。
介護保険認定調査員研修	要介護認定の度合いを判定する為に一次判定として申請者の自宅を訪ね、厚生労働省の定めた要介護認定調査票を基に、申請者がどれくらい介護を必要とする心身状態なのかを調査するための資格取得研修
アセスメントツールによる居宅サービス計画の作成手法について	インターライ方式、包括的自立支援プログラム（三団体ケアプラン研究会方式）、ケアマネジメント実践記録様式（日本社会福祉士会方式）、日本訪問看護振興財団方式、全国社会福祉協議会方式「居宅サービス計画ガイドライン」の各方式にわかれてアセスメントツールによる居宅サービス計画の作成手法を習得する。
自立支援のためのケアマネジメントの基本 （課題整理総括表・評価表講義を含む）	利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの視点を理解する。また、利用者が住み慣れた地域で主体的な生活を送ることができるように支援することの重要性を理解するとともに、在宅生活を支援する上で、家族に対する支援の重要性を理解する。
介護支援専門員に求められるマネジメント （チームマネジメント）	多職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組成し、円滑に機能させるための基本的な技術を修得する。
ケアマネジメントの展開 ・基礎理解	ケアマネジメントは高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解に基づいて行われる必要があることを理解する。
ケアマネジメントの展開 ・筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例	筋骨格系疾患及び廃用症候群の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たったポイントを理解する。
ケアマネジメントの展開 ・脳血管疾患に関する事例	脳血管疾患の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たったポイントを理解する。
ケアマネジメントの展開 ・看取りに関する事例	看取りにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たったポイントを理解する。
ケアマネジメントの展開 ・認知症に関する事例	認知症の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たったポイントを理解する。
ケアマネジメントの展開 ・内臓の機能不全 （糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）に関する事例	内臓の機能不全に係る各疾患・症候群（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たったポイントを理解する。
アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	研修全体での学びを踏まえ、アセスメントから居宅サービス計画等の作成からモニタリングまでを一貫して行い、ケアマネジメントプロセスについて更なる理解を深める。